

報道機関 各位

2025年3月10日&lt;計3枚&gt;

京都橘大学広報課

**たちばな教養学校 Ukon 第5期生（2025年度前期受講生）募集**  
**多彩な講師陣をお迎えし、3月10日（月）より申し込み受付開始！**  
**「語る——あなたの言葉に『いのち』を吹き込む」をテーマに全8回開講します。**

第5期(2025年度前期)の講師8名が決定し、3月10日(月)より申し込み受付を開始します。多彩な講師陣をお招きし、「語る——あなたの言葉に『いのち』を吹き込む」をテーマにお話しいただきます。

生成 AI が膨大な蓄積データに基づいて、整序された「言葉」をもたらすようになるにつれ、私たちはどのようにして、かけがえのない自分の声を人に届け、こころを分かち合うために、言葉に「いのち」を吹き込めばよいのでしょうか？さまざまな分野で活躍する、8人の講師を通して、そのヒントを探ります。

公開講座「たちばな教養学校 Ukon(ウコン)」は「生きる」ことを深く味わい、人生を豊かにするための学びの場をめざして、2023年5月より開講しています。

これまで第4期までに、約700名の受講申込者がありました。Ukonの学頭・河野通和氏(編集者・読書案内人・本学客員教授)は、各授業において、学びのナビゲータを務めます。どなたでもご参加いただける公開講座です。



たちばな教養学校 Ukon

**第5期**  
**全8回**  
**申し込み**  
**受付中**

 高橋 源一郎	 石井 美保	 大竹 昭子	 吉田 純子
 玉川 奈々福	 新井 高子	 小島 慶子	 永田 和宏

開催日時:2025年4月26日(土)~2025年8月23日(土)の期間における全8回

開催場所:QUESTION 7階「クリエイティブ・コモンズ」 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 390-2

定 員:各回100名(先着順)、対面

受講料:全8回一括お申し込み 15,000円、各回お申し込み 1回 2,500円

お申し込み方法:たちばな教養学校 Ukon ホームページよりお申し込みください。

講 師:別紙をご参照ください。

Ukon ホームページ



●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当:前川 TEL:075-574-4112 E-mail:[pub@tachibana-u.ac.jp](mailto:pub@tachibana-u.ac.jp)

1. 全体テーマ：語る——あなたの言葉に『いのち』を吹き込む

2. 第5期授業概要について（開催日時、テーマ、講師、プロフィール）

	開講日時	テーマ	講師
1	2025年4月26日(土) 14:00～15:30	声に出して読む文学	高橋 源一郎 (小説家)
2	2025年5月16日(金) 19:00～20:30	戦争を読み継ぐ、歴史を聞き継ぐ——昭和100年、戦後80年の年に	石井 美保 (文化人類学者/京都大学人文科学研究所教授)
3	2025年5月30日(金) 19:00～20:30	「遺品談話室」のこと	大竹 昭子 (作家)
4	2025年6月13日(金) 19:00～20:30	音楽を語るときに人は	吉田 純子 (朝日新聞編集委員)
5	2025年6月27日(金) 19:00～20:30	語り芸と日本人	玉川 奈々福 (浪曲師)
6	2025年7月11日(金) 19:00～20:30	日本語、多様な語り口の魅力	新井 高子 (詩人/埼玉大学教授)
7	2025年8月1日(金) 19:00～20:30	言葉を届ける——心に響く言葉とは	小島 慶子 (エッセイスト/メディアパーソナリティ)
8	2025年8月23日(土) 14:00～15:30	歌でしか語れないこと	永田 和宏 (歌人/細胞生物学者)

【プロフィール】

①高橋 源一郎（たかはし・げんいちろう）：小説家

1951年、広島県尾道市生まれ。1988年、『優雅で感傷的な日本野球』で第一回三島由紀夫賞受賞。他に『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞を受賞。2020年4月からNHKラジオ第1、金曜日「高橋源一郎の飛ぶ教室」でパーソナリティを務める。

②石井 美保（いしい・みほ）：文化人類学者/京都大学人文科学研究所教授

これまでアフリカとインドで精霊祭祀などについての調査を行う。2022年以降、沖縄と台湾で戦争と家族史について調べ始める。著書に、『たまふりの人類学』（青土社）、『遠い声をさがして』（岩波書店）、『裏庭のまぼろし』（亜紀書房）など。

③大竹 昭子（おおたけ・あきこ）：作家

1950年東京生まれ。1980年代初頭にニューヨークに滞在、文章を書きはじめる。著書に『NY1980』『間取りと妄想』『須賀敦子の旅路』『出来事と写真』（共著）『迷走写真館へようこそ』など。「カタリコ文庫」を個人出版。故人の遺品について語り合う「遺品談話室」にも参画。

④吉田 純子（よしだ・じゅんこ）：朝日新聞編集委員

1971年和歌山市生まれ。東京芸術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院音楽研究科（西洋音楽史）修了。伴奏ピアニスト、音楽ライターを経て1997年朝日新聞社入社。仙台支局（警察、市政担当）、整理部、広告局広告第4部（金融担当）などを経て現在、音楽・舞踊担当編集委員。コラム「日曜に想う」を担当。

⑤玉川 奈々福（たまがわ・ななふく）：浪曲師

神奈川県横浜市生まれ。1995年、曲師（三味線弾き）として二代目玉川福太郎に入門。師匠の勧めにより浪曲も覚え、2001年浪曲初舞台。2006年、美穂子改め玉川奈々福として名披露目。第十一回伊丹十三賞受賞。著書に『浪花節で生きてみる！』編著書に『語り芸パースペクティブ』がある。

⑥新井 高子（あらい・たかこ）：詩人/埼玉大学教授

群馬県桐生市生まれ。『ミテ』編集人。詩集『おしらこさま綺聞』で第6回大岡信賞を受賞。他にも、戯曲評論『唐十郎のせりふ』（吉田秀和賞）や英訳詩集『Factory Girls』など。編著『東北おんば訳石川啄木のうた』の発展で、映画『東北おんばのうた』企画制作（YIDFF 入選）。

⑦小島 慶子（こじま・けいこ）：エッセイスト/メディアパーソナリティ

オーストラリア・パース生まれ。1995年、TBSにアナウンサーとして入社。1999年に第36回ギャラクシー賞ラジオ部門DJパーソナリティ賞受賞。2010年に独立、各種メディア出演のほか、執筆・講演活動を精力的に行う。連載、著書多数。近著に対談集『おっさん社会が生きづらい』など。

⑧永田 和宏（ながた・かずひろ）：歌人/細胞生物学者

1947年滋賀県生まれ。京都大学名誉教授および京都産業大学名誉教授。現在、JT生命誌研究館館長。日本細胞生物学会元会長。歌人として宮中歌会始詠進歌選者、宮内庁御用掛、朝日歌壇選者などをつとめる。読売文学賞、遼空賞など受賞多数。2009年紫綬褒章、2019年瑞宝中綬章受章。歌集16冊のほか、『知の体力』（新潮新書）『タンパク質の一生』（岩波新書）など著書多数。

### 3. 学頭・河野通和（こうの・みちかず）プロフィール

1953年、岡山市生まれ。東京大学文学部ロシア語ロシア文学科卒業。1978年、中央公論社（現中央公論新社）入社。おもに雑誌編集にたずさわり、「婦人公論」「中央公論」編集長を歴任。新潮社にて季刊誌「考える人」編集長を務めた後、株式会社ほぼ日入社。「ほぼ日の学校（のちに学校）」初代学校長を務める。2022年4月より、京都橘大学客員教授。著書に『言葉はこうして生き残った』（ミシマ社）、『「考える人」は本を読む』（角川新書）がある。読書案内人・編集者として活動中。

### 4. お問い合わせ先（一般の方）

たちばな教養学校 Ukon 事務局（京都橘大学 生涯教育・通信教育課）

TEL:075-574-4335

MAIL:ukon@tachibana-u.ac.jp

以上